

令和8年度 エルモ翠町学区 事業計画書

1 今年度の目標

・ こどもや子育て世代が集う場づくりや企画実施を始める。
・ 既存サロンの継続と充実を支え合うネットワークづくり、仕組みをつくる。
・ 住民の新たな出番と出会いの機会、多様な世代が集う学びの場づくりを進める。
・ 公式LINEアカウントやホームページの開設など新たな広報ツールを整える。
・ 大学と連携した地域の情報収集と発信を行う。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	地域活動協働事業 町民大運動会	(13)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年8月1日 ～ 令和8年10月31日	
(2) 実施場所	広島市立翠町小学校、学区内の会館・集会所	
(3) 参加者数	400人（見込み）	
(4) 主催団体	翠町学区社会福祉協議会	
4 取組内容	住民の交流機会づくりとして、地域の関係団体と協働で、学区全体で取組む町民大運動会の運営、備品整備及び広報を行う。 エルモ翠町学区が主催する別の取組（子ども会議）と連携し、子どもが主体的に考える競技を盛込むことで、新たな参加、担い手づくりにつなげる。 ■ 町民大運動会の開催 9月27日(日)雨天延期 ■ 事前準備、振返り 8月～10月で実施	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 住民の交流機会の充実や、地域行事を広く知り合うことを目的とし、人・お金・情報発信を協働で取組む。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 昨年度から引き続き広報や内容の充実を進めることで、新たな参加や連携につなげることが見込まれる。	

1 事業名	地域活動協働事業 とんど祭り	(13)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年11月1日 ～ 令和8年2月28日	
(2) 実施場所	広島市立翠町小学校、学区内の会館・集会所	
(3) 参加者数	400人（見込み）	
(4) 主催団体	エルモ翠町学区、翠町学区社会福祉協議会	
4 取組内容	住民の交流機会の充実と、伝統的な地域行事を伝えるため、地域の関係団体と協働で、とんど祭りの運営、備品整備及び広報を行う。 ■ とんど祭りの開催 1月10日 ■ 事前準備、振返り 11月～2月で実施	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 住民の交流機会の充実や、伝統的な地域行事を継承していくこと目的とし、人・お金・情報発信を協働で取組む。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 昨年度から引き続き広報や内容の充実を進めることで、新たな参加や連携につなげることが見込まれる。	

1 事業名	地域活動サポート事業 伝統的地域行事の継承	(13)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年6月1日 ～ 令和8年12月25日	
(2) 実施場所	翠町会館、西旭町集会所、旭三丁目会館、公園、広島市立翠町小学校等	
(3) 参加者数	—	
(4) 主催団体	翠町東部町内会、翠町西部町内会、西旭町町内会、旭三丁目町内会	
4 取組内容	各町内会が主催する祭り等の地域行事について、広報や必要な物品等購入の支援を行うことで、各町内会の負担の軽減、効率的な運営を図り、参加者の増加及び新たな担い手の確保につなげる。取組実施後は、各町内会での取組を共有し、次年度以降の連携等に活かす。 ■翠町東部・翠町西部：夏祭り、秋祭り ■西旭町：夏祭り、秋祭り ■旭三丁目：夏祭り、秋祭り、もちつき大会 ※各行事ともに、学区全体から参加者あり。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 運営費、役員の高齢化、担い手不足による負担増など課題が生じている伝統的地域行事に対して支援を行い、行事の活性化や新たな担い手の確保につなげることを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 構成団体及び連携団体の悩みの解消の一助となり、団体間で活動を知り合い、支え合うことにつながる。学区全体での広報活動等により、新たな参加や関わりが生まれ、費用負担の軽減により、次年度以降の活動継続や環境整備につながることが期待できる。	

1 事業名	地域活動サポート事業 翠町音頭の伝承	(13)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	広島市立翠町小学校をはじめ学区内全体	
(3) 参加者数	〔配布先〕翠町小学校児童481人、教職員・地域住民約200人	
(4) 主催団体	エルモ翠町学区	
4 取組内容	小学校の運動会や祭り等の行事で踊られる翠町音頭について、多くの住民、幅広い世代が翠町音頭を知る機会を増やすため、昨年度完成したリーフレットを学区内で配布する。 ■ リーフレット（翠町音頭の成立ちや動画二次元コード掲載）印刷・配布 ／翠町小学校 運動会で翠町音頭を踊る練習開始の5月に全児童・教職員へ配布 夏祭り、町民大運動会等で踊る機会に合わせて、学区内の高齢者サロン等で配布	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 指導者の高齢化等により、次世代への伝承が課題となっている翠町音頭について、幅広い世代で翠町音頭を知り合う機会をつくる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 次世代へ伝承が課題となっている翠町音頭について、住民が知るきっかけとなる。小学校での配布では、児童だけでなく、教員や保護者にも翠町音頭とともに地域の思いを伝えることが期待される。	

1 事業名	地域活動サポート事業 わがまち農園	(13)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	広島市立翠町小学校	
(3) 参加者数	延べ150人程度	
(4) 主催団体	エルモ翠町学区	
4 取組内容	小学校で実施している「環境整備の日」の取組と連携し、学年園での野菜づくりや花壇整備等を行うとともに、活動に関する情報の発信を行う。児童の見守り、交流する機会とし、学校と地域の新たな関係づくりを進める。 ■ 学年園での野菜づくり ■ 花壇、学年園周辺の環境整備 ■ 情報発信／広報紙「校庭ジャーナル」の作成・配布(配信)・掲示など	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 児童の見守り、小学校の環境整備とともに、住民同士の新たな交流の場をつくる。また児童、保護者、教員が地域を知る機会をつくることを目指す。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 小学生の環境整備と児童の見守りや食育につながり、交流の場が充実する。本取組を通して、児童、保護者、教職員、地域住民が知り合う機会となる。	

1 事業名	まちの担い手づくり事業 もち組活動の推進、もち関連活動支援	(13)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	学区内会館・集会所、公園等	
(3) 参加者数	もち組活動：延べ80人程度、もち関連行事：計350人程度	
(4) 主催団体	エルモ翠町学区	
4 取組内容	昨年度、結成したもち組では、年間を通して、地域で餅つきや餅づくりを楽しむ機会を地域団体等と連携してつくる。餅つきイベントの開催や、地域内のもち関連の行事支援を行う。地域行事の伝承や新たな担い手発掘の機会とする。 ■もち組／地域のサロンやオープンスペース等と連携した餅づくり イベント等でのもち販売を目指した準備・実践 ■もち関連行事支援／10月餅まき(西旭町)、餅つき(翠町東部・西部) 12月餅つき(旭三丁目)	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域の伝統的な行事を伝え、新たな担い手を発掘することを目的とする。人・お金・広報で、餅づくり、餅つき関連行事の支援を行う。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 伝統的な地域行事の魅力を再発見する機会となり、もちをテーマにした新たな仲間づくり、魅力づくりが見込まれる。	

1 事業名	まちの担い手づくり事業 わがまちむかしよもやま会	(13) 事業中(7) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	学区内会館・集会所	
(3) 参加者数	写真提供者：約15人、交流会参加者：約60人	
(4) 主催団体	エルモ翠町学区	
4 取組内容	昨年度開催した昔の写真を見て交流を深める会をきっかけに、今年度は、新たに翠町学区の昔の写真や資料等を募集し、データベースづくりを行う。 ■昔写真の募集開始（6月～） ■翠町学区の昔写真アーカイブマップ制作（4月～） ■アーカイブマップを見ながら交流会（11月～）	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域の歴史を知り合い、魅力を再発見する機会をつくり、住民同士の交流、地域愛の醸成につなげる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 住民から提供された写真のデータベースを制作することで、新たなまちの魅力と交流を生むことが期待できる。アーカイブマップは、地域を伝えるツールになることが見込まれる。	

1 事業名	まちの担い手づくり事業 わがまち防災	(13)事業中(8)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年9月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	広島市立翠町小学校、各会館・集会所	
(3) 参加者数	講座：約50人、サロン等との連携場づくり：1回につき約15人	
(4) 主催団体	エルモ翠町学区	
4 取組内容	地域の防災の実態を学び、知識を深める機会をつくるとともに、地域内での防災活動を考える機会とする。 ■防災を学ぶ研修会等の開催（10～11月） ■サロンや子どもオープンスペース等と連携した防災を学ぶ場づくり	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域住民の共有課題である「防災」を軸に、地域を学びともに取組む機会をつくることで、顔が見える関係づくり、安心・安全のまちづくり、新たな担い手の発掘を目指す。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 幅広い世代の参加や新たな連携につながる。地域の実態を学び合うことで、防災に関する学校との取組や住民の防災活動が充実することが期待できる。	

1 事業名	まちの担い手づくり事業 わがまち子ども・子育ての場づくり	(13)事業中(9)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	広島市立翠町小学校、各会館・集会所	
(3) 参加者数	子ども会議：延べ50人程度、フリースペース：延べ100人程度、 公園あそび場づくり：延べ50組程度	
(4) 主催団体	エルモ翠町学区	
4 取組内容	以下を試行的に実施する。成果と課題を整理し、次年度以降の展開につなげる。 ■子ども会議の開催：概ね月1回（4月～）こどもによる地域行事企画づくり、交流 ■子どもフリースペース（宿題、遊びの場）：夏休みなどの長期休暇期間の居場所づくり 上記2つは、主に小学生対象 ■公園あそび場づくり：概ね月1回（10月～）主に未就園児親子対象	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域の中にこどもの居場所と、こどもが地域行事に関わる機会をつくることを目指す。 また、未就園児親子が交流でき、地域の人と知り合う、地域活動を知る機会をつくる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 子ども会の運営や地域の中での役割の負担が課題となっている中、子ども会以外でも、地域のこどもが集まり、ともに取組む機会づくりにつながる。また、未就園児親子同士が知り合う機会、地域を知る機会ができる。	

1 事業名	まちの担い手づくり事業 わがまちサロン	(13) 事業中 (10) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年9月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	学区内各会館・集会所	
(3) 参加者数	1回につき15人(見込み)	
(4) 主催団体	エルモ翠町学区	
4 取組内容	学区内のサロンが協力し合い、継続と充実を目的とした仕組みと場づくりを進める。また、多様な世代・学区全体を対象にした学びの場づくりを試行的に行う。 ■ 既存サロンと連携した学区内共通テーマ・企画による交流、学びの場づくり ■ 学区内サロン連携の仕組みづくり ■ (仮称)まちカレッジの試行／連続講座の開催、カレッジ講師・運営者の募集 など	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 運営費不足や企画づくりで活動継続に不安を抱えるサロンがあり、安心して運営が続けられる支援、支え合う仕組みが必要になっている。また、多様な世代が参加しやすい場へのニーズが寄せられている。これらを踏まえ、既存サロンの継続と充実、多様な世代の参加が期待できる新たな場づくりを目指す。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 既存サロンの課題解消の一助になるとともに、サロン間の支え合いが生まれることが見込まれる。また、高齢者以外が集まる場が生まれ、地域デビューのきっかけになることが期待できる。	

1 事業名	まちを伝える事業	(13)事業中(11)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	学区全体	
(3) 参加者数	—	
(4) 主催団体	エルモ翠町学区	
4 取組内容	構成団体及び連携団体の活動やエルモの取組を伝える。翠町学区の基礎情報を伝える。 ■SNS（Instagram、公式LINE）活用・発信 ■地域団体紹介冊子の作成・配布 ■ニュースレター作成・配布、行事・イベント等のチラシ作成・配布（配信） ■ホームページ開設 ■ロゴマークの活用 など	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 広報ツールを複数活用し、構成団体及び連携団体の活動やエルモの取組、まちの基礎情報等について、地域住民に広く伝えることを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地域内をはじめ幅広く構成団体及び連携団体の活動やエルモの取組を伝える機会が増える。地域の活動に興味、関心を持つ地域住民や協力団体が増えることが期待できる。	

1 事業名	コミュニティ拠点づくり事業	(13) 事業中 (12) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	翠町会館など	
(3) 参加者数	—	
(4) 主催団体	エルモ翠町学区	
4 取組内容	昨年度、エルモの活動拠点のあり方や、コミュニティ拠点に求められている機能について方向性が得られたことを踏まえ、地域活動に参加していない住民も立ち寄りやすい場や、新たな交流、居場所づくりを進める。 ■エルモ翠町学区の拠点整備／情報発信や交流スペース機能の整備	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域団体だけでなく、地域団体の活動に参加していない住民も訪れるきっかけとなる拠点づくりを目指す。また、新たな担い手の発掘や、地域課題に応じた取組みを後押しできる拠点機能の整備を進める。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 新たな住民や団体等のつながりを生み、構成団体及び連携団体との活動の展開が期待できる。	

1 事業名	まち調査事業	(13)事業中(13)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(13) 地域課題等の把握に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	学区全体	
(3) 参加者数	—	
(4) 主催団体	エルモ翠町学区	
4 取組内容	地域住民や学区内の地域活動団体の声を集め、今後の取組検討につなげる。 ■学生スタッフによる構成団体等からの活動状況や課題等の取材（5月～8月） ■県立広島大学地域創生学部和田教授による住民アンケート調査結果の配布（6月～1月） （調査自体は和田教授による実施。地域では調査票配布・配信の協力を行う） ■構成団体関係者による意見交流会の開催（2月）	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域課題の解決や魅力づくりに向け、地域のニーズや課題等を具体的に把握する必要がある。地域住民や学区内の地域活動団体の声が見える化し、今後の取組みの検討につなげることを目指す。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 住民や地域活動団体の声が見える化し、次年度以降の取組の検討とともに、地域住民への情報発信・共有につなげることが期待できる。今後、まちの変化を把握するための基礎調査の一つになることが見込まれる。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容
令和8年9月～令和9年3月	翠町小学校 校庭倉庫テント置き場づくり	なし	市立工業高校と地域との連携によるテント置き場づくり